

(世界史プリント8-1)

第16章 二つの世界大戦 1. 第一次大戦とロシア革命

b. 第一次世界大戦

① [1]]年6月28日 [2]]事件発生→7月28日 第一次大戦発生

②西部戦線…ドイツはベルギーを侵略しフランス領内に侵入
→マルヌの戦い以後、パリ東方で戦局の膠着化→塹壕戦へ
→新兵器(戦車・飛行機・毒ガス・潜水艦など)の使用

③東部戦線…タンネンベルクの戦いでドイツの勝利以後、ロシア領内へ侵入

④1917 ドイツ、海軍力の弱さを[3]]作戦での挽回をはかる

⑤1917アメリカ合衆国、[4]]号事件(1915)をきっかけに参戦→連合軍優勢に
大量の兵力、兵器の供給、経済援助=アメリカの[5]]国化する

⑥1917 [6]]の発生=社会主義政権の成立、平和に関する布告発表
無併合・無賠償・民族自決
↓
1918,3 ドイツと[7]]条約を締結,戦線離脱

⑦1918 9/27ブルガリア, 10/30トルコ, 11/2オーストリアの降伏
10/28 [8]]軍港での水兵の反乱をきっかけにドイツ革命発生
↓
11/9 共和国政府成立, ウィルヘルム2世亡命→11/11 休戦条約締結(第一次大戦終結)

⑧[9]]体制の樹立

総力戦体制…[10]]大戦のなかで生み出された新たな戦略思想。(ドイツのルー
デンドルフが定式化)。ここでは戦争は戦場でのみ行なうという考えを否定し、11_____

[12]]工場などの労働力として徴用され、平和的な工場は軍需工業にかえられ、経済は
統制され、配給制度などが実施された。
またこうしたやりかたに対する国民の不満をおさえ、国民の動員を容易にするため、[13]

]操作や教育を重視するようになってきた。

⑨植民地人民の動員

インド=150万, 中国=15万, インドシナ=10万, エジプト=50万, アルジェリアモロッコ=84万, 英領東アフリカ=21万

⑩第2インターナショナル…戦前は反対決議→戦争開始とともに大部分が戦争支持へ
ロシア レーニンら[14]]と主張
ドイツ ローザ=ルクセンブルクら[15]]を結成, 戦争に反対

⑪人道主義者の反戦論…トルストイ, ロマン=ロランなど

⑫戦後世界の構想

1917アメリカ大統領[16]]が[17]]発表

2. ロシア革命とソ連邦 a. ロシア革命

①戦争→国民の生活困難の深刻化、厭戦意識のたかまり(←ボリシェヴィキによる反戦論)

ロシア革命をめぐる政党

[18]]党(カデット)=自由主義[19]]中心
議会による国政改革を要求、立憲君主制をめざす。
[20]]党(エスエル)= [21]]の流れを引き、[22]]中心
の革命をめざす。
[23]]…社会民主労働党の分裂で成立。党を労働者・農民を基礎し鉄の規
律を重視する[24]]集団とする急進社会主義派。
メンシェヴィキ…社会民主労働党の分裂で成立。党を[25]]政党とし、中産階級とも
妥協し漸進的な革命をめざす。

②[26]]年3月 婦人による自然発生的なデモをきっかけにゼネスト発生
→兵士も参加=[27]]を結成(←メンシェヴィキ, 社会革命党中心)

↓
皇帝[28]]の退位=[29]]朝崩壊([30]]革命)
→臨時政府成立=立憲民主党(資本家中心)+[31]](社会革命党)

③4月、ボリシェヴィキの指導者[32]]の帰国=[33]]発表
「すべての権力を[34]]へ」と[35]]革命を主張

↓
ボリシェヴィキ→ソヴィエトでの優位へ=臨時政府[36]]内閣と対立

④9月、帝政派の首都侵攻計画→ボリシェヴィキ指導下の労働者により撃退
→ソヴィエトにおけるボリシェヴィキの影響力拡大

⑤11月 レーニン、[37]]の指導下にボリシェヴィキの武装蜂起
→臨時政府を打倒し[38]]政権樹立([39]]革命)

⑥ ロシア革命=[40]]革命+[41]]革命
ロシア帝国を打倒 社会主義政権を樹立
→帝政派の反革命失敗→ボリシェヴィキの勢力拡大